

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	紋別市
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（3年計画のうち 2年目）

実施主体	市町村名：紋別市 民間団体名：各合宿団体支援団体、交流拡大推進研究会、紋別市青少年健全育成推進委員協議会ほか		計	1市町村 23団体
プロジェクト名	交流拡大プロジェクト		格差の分野：社会構造の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	■ 該当 □ 非該当	◆ 地域重点プロジェクト名 地域資源を活かした新たな観光の魅力づくりとプロモーション活動の推進	◆ 主な取組：地域資源を活かした新たな観光の魅力づくり ○ 新たな観光素材を活用した観光ルートづくり	
	◆ 地域の課題 大学・企業の撤退や少子高齢化を要因とした人口減少が進み地元経済が低迷している現況にあり、まち全体を元気づけるためには人口の減少に歯止めをかけ地元経済を活性化させることが課題。 ◆ プロジェクトの目標 地域の持つ自然豊かな環境を活かし、移住者・スポーツ合宿の誘致等を行うことで定住促進及び交流人口の拡大を図り、地元経済の活性化、地域力の再生に繋げることを目標としている。			
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	住民等の評価 スポーツ合宿団体及びおためし暮らし体験者との活発な交流により地域の活性化が図られ、満足度が非常に高い。			
	計画に対する達成度 紋別市のスポーツ合宿及びおためし暮らし体験事業が全国的に周知されつつあり受入数は飛躍的に伸びている。			
取組の成果	具体的な効果		交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> おためし暮らし体験者 36組 80名 滞在日数 651日 スポーツ合宿 16団体 412名 滞在日数 107日 		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ合宿の年間受入者数 目標 300名 (H30) H22 実績 412名 達成率 137% 移住、二地域居住世帯 目標 11世帯 (H30) H22 までの実績 1世帯 達成率 9% 	
プロジェクト推進上の課題・問題点	課題点等			
	<ul style="list-style-type: none"> おためし暮らし体験から移住・二地域居住へ結びつける新たな施策を検討する必要がある。 スポーツ合宿団体の増加に対応できる受入体制を整備する必要がある。 			
課題を踏まえた今後の展開		<ul style="list-style-type: none"> 福祉や観光との連携により多面的にPR活動を行うことで移住・二地域居住の促進を図る。 現在のスポーツ合宿受入数を維持しつつ、合宿団体と地元住民との交流に重点を置いた受入へと事業を展開していく。 		

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
	補助金等						委託費					
1	交流拡大推進事業	H21 ＼ H23	全体計画	25,414		2,700			19,651		2,881	
			初年度(H21)	8,672		2,700			4,605		1,367	
			2年度目(H22)	7,424					6,991		433	
	市 交流拡大推進研究会 (住)		3年度目(H23)	9,318					8,237		1,081	
2	スポーツ合宿等誘致 事業	H21 ＼ H23	全体計画	49,688			37,812		3,988	7,888		13,500
			初年度(H21)	13,898			12,616		1,282			8,100
			2年度目(H22)	21,839			12,598		1,353	7,888		3,900
	市 オホーツク音楽セミ ナー実行委員会(公) 各合宿団体支援団体 (住：16団体)		3年度目(H23)	13,951			12,598		1,353		1,500	
3	子ども会管外交歓研 修会	H21 ＼ H23	全体計画	4,248			3,984			264		2,300
			初年度(H21)	1,390			1,390				1,000	
			2年度目(H22)	1,463			1,199			264		800
	市 紋別市青少年健全育 成推進委員協議会 (公)		3年度目(H23)	1,395			1,395				500	
4	雇用開発及びUター ン促進事業	H21 ＼ H23	全体計画	13,574					13,574			
			初年度(H21)	4,772					4,772			
			2年度目(H22)	4,401					4,401			
	市		3年度目(H23)	4,401					4,401			
5	国際交流事業	H21 ＼ H23	全体計画	11,007			1,500		4,838	4,669		2,900
			初年度(H21)	1,269			500		769			900
			2年度目(H22)	6,028			500		859	4,669		1,000
	市 紋別市国際交流委員 会(公)		3年度目(H23)	3,710			500		3,210		1,000	

6	オホーツク観光推進事業	H21 ＼ H23	全体計画	96,180			94,890		1,290			
			初年度(H21)	30,160			29,510		650			
			2年度目(H22)	33,010			32,690		320			
	市 オホーツク紋別空港 利用・整備促進期成 会(公) 紋別観光協会(公) (株)紋別振興公社 (公)		3年度目(H23)	33,010			32,690		320			
7	産業誘致推進事業	H21 ＼ H23	全体計画	217,929			217,929					
			初年度(H21)	112,802			112,802					
			2年度目(H22)	55,542			55,542					
	市		3年度目(H23)	49,585			49,585					
計	事業数(7) 実施主体数(21)		全体計画	418,040		2,700	356,115		43,523		2,881	18,700
			初年度(H21)	172,963		2,700	156,818		12,078		1,367	10,000
			2年度目(H22)	129,707			102,529		13,924	12,821	433	5,700
			3年度目(H23)	115,370			96,768		17,521		1,081	3,000

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。

3 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。

4 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	交流拡大推進事業	おためし暮らし体験を通し、地域の魅力を体感してもらうことにより、移住・二地域居住への推進を図る。 スポーツ合宿団体の継続要請・新規団体の誘致活動を行う。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・おためし暮らし受入 受入 65名(延1,603日) ・移住促進PR事業 ・スポーツ合宿等の誘致活動 	<p>〔効果〕 地域の魅力が受け入れられ、着実にお試し暮らし件数が伸びており、体験者の満足も高い。</p> <p>〔課題〕 完全移住、二地域居住に繋がるためのフォローアップ(移住の際の住居紹介など)を行うことで、本来の目的である移住人口の増加を図る必要がある。</p>	<p>これまでのPR、誘致活動は継続しながら、移住人口の増加に繋がる体制づくりをするとともに、行政主導から、市民主体への移行の流れを構築していく。</p>
			2年度目 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> ・おためし暮らし体験の受入 受入 80名(延1,355日) ・移住促進PR活動 ・スポーツ合宿等誘致活動 	<p>(効果) 紋別市でのおためし暮らし体験が道内・外で認知されてきており、受入件数の増加による経済効果及び紋別市のPRに繋がっている。</p> <p>(課題) おためし暮らし体験者から移住・二地域居住へ繋がるフォローアップを行い、移住人口の増加を図る必要がある。</p>	<p>本来の目的である、移住・二地域居住へのフォローアップを行うと共に、福祉や観光と連携し、多面的に紋別市をPRしていく。</p>
			3年度目 (H23)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
2	スポーツ合宿等誘致事業	スポーツ合宿団体等の合宿活動費の一部を補助することにより、スポーツ及び文化活動の振興を図り、地域の活性化に繋げる。	初年度 (H21)	慶応義塾大学体育会競技部 ヤマダ電機女子陸上部 東海大学陸上競技部 拓殖大学陸上競技部 明治大学陸上競技部 中央大学陸上競技部 青山学院大学陸上競技部 帝京大学駅伝競技部 北海道大学水泳部 全日本ハンドボールチーム IBM少林寺拳法クラブ 拓殖大学女子バスケットボール部 帯広南商業高校女子バスケットボール部 札幌イトマンスイミングスクール 北海道大学男子バスケットボール部 駒澤大学空手道部 計 16 団体 435 名 延合宿日数 103 日間	〔効果〕 前年比 9 団体、247 名の増となり、誘致活動の成果が表れた。滞在期間の市内宿泊施設、商店街、飲食業等への波及効果も大きく、また、紋別空港利用率向上にも貢献しており、地域の活性化に欠かせない事業となっている。 〔課題〕 団体数、人数の増加による受入体制の維持。合宿団体における成果、成績に繋がるような利用施設の環境整備が必要である。	既合宿団体の継続実施を維持していくとともに、新規団体の誘致活動を図る。地元団体、児童生徒との交流活動なども深くし、合宿団体、地元の双方が活性化できる受入体制の整備の充実を図る。
			2年度目 (H22)	慶応義塾大学体育会競技部 ヤマダ電機女子陸上部 城西大学陸上競技部 拓殖大学陸上競技部 明治大学陸上競技部 中央大学陸上競技部 國學院大学陸上競技部 青山学院大学陸上競技部 帝京大学駅伝競技部 北海道大学水泳部 全日本ハンドボールチーム チームエース 拓殖大学女子バスケットボール部 札幌イトマンスイミングスクール 北海道大学男子バスケットボール部 駒澤大学サッカー部 計 16 団体 412 名 延合宿日数 107 日間	(効果) 合宿団体と地元住民との交流により地域の活性化が図られている。また、滞在期間中の市内宿泊施設や商店街、飲食店への経済効果や空港利用促進にも大きく貢献していることから欠かせない事業となっている。 (課題) 合宿団体数の増加による受入体制の確立。また、合宿団体が結果へ繋がるような利用施設の環境整備。	既合宿団体の継続及び新規団体の誘致活動を図る。また、地元住民との交流に重点を置いた受入を行う。
			3年度目 (H23)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
3	子ども会管外交歓研修会	道内都市部の子ども会との交歓研修会の実施など、地元児童と都市部児童の積極的交流を図る。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会等リーダー養成研修会 (H21.8.2~8.4) 研修生 27名、リーダー 9名 札幌市南区子ども会、紋別子ども会交歓研修会 (H21.9.4~9.6) 紋別子ども会 45名、南区子ども会 37名 	<p>〔効果〕 道内都市部で生活する児童との交流や団体行動を通じ地域の壁を感じない個々の心の育成が図られるとともに、異なる年齢集団での活動の中で、家庭や学校のみでは体験できない部分の学習に繋がる。</p> <p>〔課題〕 研修会による一時的な交流のみではなく、継続的に連絡を取り合うことができるなどのフォローアップが必要。</p>	継続的な事業実施により、各世代による隙間のない交流を図る。
			2年度目 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会等リーダー養成研修会 (H22.8.1~8.3) 研修生 21名、リーダー 11名 札幌市南区子ども会、紋別子ども会交歓研修会 (H22.9.10~9.11) 紋別子ども会 25名、南区子ども会 40名 	<p>〔効果〕 道内都市部で生活する児童との交流や団体行動を通じ地域の壁を感じない個々の心の育成が図られるとともに、異なる年齢集団での活動の中で、家庭や学校のみでは体験できない部分の学習に繋がる。</p> <p>(課題) 研修会による一時的な交流のみではなく、継続的に連絡を取り合うことができるなどのフォローアップが必要。</p>	
			3年度目 (H23)			
4	雇用開発及びUターン促進事業	雇用開発推進員を配置し、U・Iターン希望者への情報提供や再就職の支援を行うもの、市内の企業、事業所における人材確保を図る。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> 雇用開発・Uターン推進員による相談業務 地元産業説明会の実施 Uターン企業ガイドブックの作成 	<p>〔効果〕 U・Iターン雇用成立 4名 一般就職相談による就職 5名</p> <p>〔課題〕 低迷する経済・雇用情勢の中、新規学卒者のみならず、中高年者の求職者も増加しており、雇用確保が困難となってきた。</p>	通常の相談業務に加え、市ホームページでの情報提供、ハローワークとの連携強化により、幅広い世代の雇用確保に努める。

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
			2年度目 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用開発・Uターン推進員による相談業務 ・地元産業説明会の実施 ・Uターン企業ガイドブックの作成 	<p>〔効果〕 U・Iターン雇用成立 2名 一般就職相談による就職 1名</p> <p>〔課題〕 低迷する経済・雇用情勢の中、新規学卒者のみならず、中高年者の求職者も増加しており、雇用確保が困難となってきた。</p>	通常の相談業務に加え、市ホームページでの情報提供、ハローワークとの連携強化により、幅広い世代の雇用確保に努める。
			3年度目 (H23)			
5	国際交流事業	アメリカ合衆国ニューポート市等の3国際姉妹都市との文化及び人的交流を推進する。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・コルサコフ市（ロシア）親善訪問団受入（10名） ・コルサコフ市ヨット訪問団受入（9名） ・中国語、ロシア語講座の実施 ・街灯フラッグ設置 	<p>〔効果〕 定期的な姉妹都市交流により、親密な国際交流が推進される。 中国語講座の実施により、近年増加している市内中国人研修生と市民の活発な交流が図られ、外国人にとって負担のない生活環境づくりに繋がっている。</p> <p>〔課題〕 国際交流委員会メンバーが固定化されており、今後の国際交流に支障が出ないよう、次世代の育成を図り、団体活動の活性化が必要である。</p>	各姉妹都市との定期的な交流を継続し、友好的な環境づくりを進める。 各種市民外国語講座の内容充実により、底辺からのよりよい外国人との友好な交流を図る。
			2年度目 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> ・コルサコフ市ヨット訪問団受入（7名） ・中国語、ロシア語講座の実施 ・街灯フラッグ設置 ・中学生ニューポート市派遣中学生 10名 随行 3名 	<p>〔効果〕 姉妹都市との交流により、国際性豊かな発想づくりと親密な交流が推進される。</p> <p>〔課題〕 国際交流委員会メンバーが固定化されており、今後の国際交流に支障が出ないよう、次世代の育成を図り、団体活動の活性化が必要である。</p>	来年度は姉妹都市であるニューポート市（アメリカ）とコルサコフ市（ロシア）の周年事業があることから、より親密な交流を推進する。また、中国語・ロシア語講座の開講により外国人との交流をサポートする。
			3年度目 (H23)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
6	オホーツク観光推進事業	紋別の持つ自然豊かな観光力を余すことなくPRし、雑誌・テレ広告や体験観光などの各種イベントに対して支援を行う。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体旅行者向け周遊型バス運行助成 ・北海道じゃらん、ソーナナ掲載 ・雑誌、WEB、新聞広告掲載 ・キャンドルナイト、スノーシューハイキング事業 	<p>〔効果〕 観光客のニーズに対応したツアー商品作成や周遊型バスの運行、地域特性を活かしたイベントの実施により、空港利用客の利便性の向上と観光交流の推進を図ることができた。</p> <p>〔課題〕 道外、国外問わず、観光客においては北海道の魅力はそれなりに浸透しており、道内他地域との差別化が必要となっている。</p>	増加している国外からの観光客（主にアジア諸国）のニーズを的確に把握し、紋別完結のみではなく、道内他空港との連携による周遊型観光、空港利用が可能なツアー商品の形成などを推進し、空港利用客、観光交流人口の増加を図る。
			2年度目 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体旅行者向け周遊型バス運行助成 ・北海道じゃらん、ソーナナ掲載 ・雑誌、WEB、新聞広告掲載 ・キャンドルナイト、スノーシューハイキング事業 ・子どもフライト体験ツアー ・青山学院初等部受入 	<p>〔効果〕 観光客のニーズに対応したツアー商品作成や周遊型バスの運行、地域特性を活かしたイベントの実施により、空港利用客の利便性の向上と観光交流の推進を図ることができた。</p> <p>〔課題〕 道外、国外問わず、観光客においては北海道の魅力はそれなりに浸透しており、道内他地域との差別化が必要となっている。</p>	増加している国外からの観光客（主にアジア諸国）のニーズを的確に把握し、紋別完結のみではなく、道内他空港との連携による周遊型観光、空港利用が可能なツアー商品の形成などを推進し、空港利用客、観光交流人口の増加を図る。
			3年度目 (H23)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
7	産業誘致推進事業	産業施設の新設又は増設に助成を行うことで、産業振興と地元における雇用拡大を図る。	初年度 (H21)	<p>・紋別市産業施設誘致等促進条例に基づく施設増設及び雇用に対する助成金</p> <p>2社 〔施設分〕 110,202千円 〔雇用分〕 2,600千円 (13名)</p>	<p>〔効果〕 市内製造業者における設備投資及び衛生面の強化に対する意識の向上とともに、地元雇用の拡大に繋がった。</p> <p>〔課題〕 地元既存企業の施設増設に対するものが主となり、道外、道内からの新規企業の誘致に繋がる制度構築が必要。</p>	<p>現在、国の「企業立地促進法」に基づく基本計画を遠紋地区1市6町1村の広域連携により策定中。 地域の特色を活かした産業集積の活性化を強める。</p>
			2年度目 (H22)	<p>・紋別市産業施設誘致等促進条例に基づく施設増設及び雇用に対する助成金</p> <p>2社 〔施設分〕 54,542千円 〔雇用分〕 1,000千円 (5名)</p>	<p>〔効果〕 市内製造業者における設備投資及び衛生面の強化に対する意識の向上とともに、地元雇用の拡大に繋がった。</p> <p>〔課題〕 地元既存企業の施設増設に対するものが主となり、道外、道内からの新規企業の誘致に繋がる制度構築が必要。</p>	
			3年度目 (H23)			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。

2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。